

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第176号

令和2年2月12日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

子どもサイエンスフェスティバル 2019 ③

子どもサイエンスフェスティバル海老名大会は今年で7周年を迎えるビナレッジ交流館で3年連続開催しています。出展団体は初出展の県立伊志田高等学校(伊勢原市)を含む今年の4つの大会で最多の13団体です。近隣子ども達を対象に工作教室や実験を行っている県内の高校は結構多いようです。新しく出展していただける高校がこれからも増えることを期待します。

お詫び

想定以上の来場者で「一部ブースで材料がなくなり早く終了した」、「一時当日ガイド在庫切れとなった」等の事態が生じてしまいました。大変申し訳ございませんでした。

第3回 子どもサイエンスフェスティバル 海老名大会

2月1日(土) えびな市民活動センタービナレッジ交流館

来場者 978名

今年の大会で初めて晴天に恵まれた、さわやかな朝、開始1時間ほど前から来場者が並び始め、開始1時間で昨年の総来場者数(719名)を上回る人数が訪れました。









えびな市民活動センター
ビナレッジ交流館



開催当日は外壁工事中

<p>①はまぎん こども宇宙科学館 はまぎん こども宇宙科学館 出張サイエンスショー「とべ☆ロケット!!」</p>	<p>②(一社)スペースウェザー協会 太陽と宇宙について知ろう! 工作実験：かさ袋ロケット製作・打上げ</p>	<p>③三浦学苑高等学校 科学部 フラールンボールをつくろう</p>
		
<p>ホールで、午前・午後各1回のステージショーを開演しました。 立ち見も出るほど大人気でした。</p>	<p>JAXAの宇宙教育教材を活用。会場片付け後もかさ袋ロケットで遊ぶ子共たちがいるほどの好評でした。</p>	<p>今年ももう3回目の出展で、高校生たちは手慣れた様子で、子ども達に分かりやすく教えていました。</p>
<p>④県立伊志田高等学校 自然科学同好会 「鳥の骨の博物館」と「葉脈標本の作製」</p>	<p>⑤SFCD 宇宙(そら)までとどけ! みんなのかみコップロケット!</p>	<p>⑥(特非)神奈川県環境学習リーダー会 発電と電池の体験デモンストレーション</p>
		
<p>ヒイラギの葉の葉脈標本をラミネート加工して葉を作りました。高校生が頑張った初出展は大盛況でした。</p>	<p>発射台とロケットを紙コップで、発射動力をビニール袋で作る、家でも作って楽しめるロケット工作です。</p>	<p>今回は発電と電池の体験。手回し発電や備長炭電池などの説明や体験に保護者も興味津々でした。</p>

<p>⑦ 三菱みなとみらい技術館</p> <p>ロケットのしくみをしらべよう</p>  <p>種子島で打ち上げられているロケットの映像をみたり、ロケットのしくみを学んでから、簡単な工作をしました。</p>	<p>⑧ 県立総合教育センター</p> <p>サイエンス・ワンダーランド</p>  <p>←葉っぱの手紙 不思議なコマ</p> <p>葉っぱで手紙を書こう、折り紙で飛ぶたねを作ってみよう、不思議なコマを回そうなど工作と体験をしました。</p>	<p>⑨ かながわサイエンスキッズサポート</p> <p>アルソミトラ種子が飛ぶ姿からグライダーが生まれた さあ再現してみよう</p>  <p>発泡スチロールから切り出した、アルソミトラ種子型の翼をうまく飛ばそうと、みんな一生懸命でした。</p>
---	---	--

<p>⑩ おもしろ実験・科学工作指導者セミナー修了生有志</p> <p>ういて まわせる おもしろマシン (UMO マシン®) をつくろう！</p>  <p>←三色団子型の UMO</p> <p>工作も楽しいのですが、自由に触れる、様々な飾り付けをした UMO も楽しみです。</p>	<p>⑪ 自然科学に親しむ会</p> <p>発電機をつかって、LED を光らせよう</p>  <p>コイルの中で磁石を動かすと電気が起こることを実験で確認しました。自作発電機の LED 点灯で大満足。</p>	<p>⑫ 紅葉ヶ丘無線クラブ</p> <p>電気・磁石の不思議をさぐる！ (電磁石を作ってみよう)</p>  <p>磁石・電気の出展が 3 階に並びましたが、切り口が異なります。電磁石で楽しく遊びながら学びました。</p>
--	--	---

⑬ WDB (株) エウレカ社

研究者と一緒にスライムを作ろう！



子ども達の大好きなスライム。未就学児でも簡単に作れて、とても嬉しそうでした。

第 28 回 神奈川県工業高等学校 生徒研究発表会

会場: 青少年センター 主催: 神奈川県高等学校教科研究会工業部会、共催: 青少年センター、県教育委員会

今年も県内の11の工業高校の代表生徒が、紅葉ヶ丘ホールで日頃の学習・研究活動の成果を発表しました。工業高校には電気、機械、建設、デザイン、化学などの学科があり、多様な研究成果が披露されました。

3年連続最優秀賞を受賞した
川崎総合科学高等学校のミニトレイン

最優秀賞	ミニトレインの製作	川崎市立 川崎総合科学高等学校
神奈川県 工業教育振興会長賞	デザチューン	県立 神奈川工業高等学校
特別賞 (青少年センター館長賞)	湘南の砂で ガラスづくり	県立 平塚工科高等学校



事務局から 前回大会の高校生ボランティア、今回大会の県立伊志田高校自然科学同好会の初出展と、大活躍していることがとても嬉しいです。2月、3月には協議会会員の協力をいただいて高校生・中学生向けの講座を開催して、恩返しする予定です。(事務局: 千葉、伴、熊切、山田)

